

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



会長：鈴木廣利 副会長：桜井富郎 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1633回
 <ソング> 君が代・奉仕の理想
 <ソングリーダー> 平井 布次弥君



2005-2006年度 RIテーマ
超我の奉仕
 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

心岳寺の池の蓮
 写真提供：鈴木 舜光君

会長挨拶 藤枝南RC 小池 吉久君
 (藤枝・藤枝南の合同例会に付き今年度は藤枝南RC会長の挨拶となります。)

暦の上では立秋と言う事で秋ですが、夏真っ盛り、ヒートアップした政局も昨日の郵政法案否決で、一気に燃え上がりました。



本日は、第2620地区鈴木亀雄ガバナー、牧田静二第5分区ガバナー補佐、宮原邦男地区副幹事をお迎えしての公式訪問例会です。

例会に先立ちまして、10時・11時と会長幹事会が開催され、ガバナーよりクラブ運営につきまして色々と、貴重なアドバイスを頂きました。今後のクラブ運営に役立てたいと思います。

鈴木ガバナーにおかれましては清水北クラブに在籍され、300年の歴史を誇る酒造元「鈴木酒造本家」の第15代当主であり、三和酒造(株)の会長を御勤めで、大変お忙しい日々の中、本日も越し頂きました。

御年78才でアナハイムでは34名の出席者の中で最高齢であったとお聞きいたしますが、吟醸「静ごころ」を愛飲され、健康そのものとの事です。今年の3月に県清酒鑑評会において吟醸トップの知事賞に輝いて居ります。

お父上は清水北RCの第3代会長で親子2代のロータリアンです。ゴルフをこよなく愛し、14

00回を超えるスコアを全て記録するという緻密さを持ち、それゆえ、在籍37年間100%出席を継続中との事です。

本日はRIのテーマ及び当地区の事業について詳しいお話が伺える事を楽しみにしております。

幹事報告 藤枝南RC 若林秀典君
 ・「地球環境保全公開シンポジウム」開催のご案内が届いています。

出席報告 後藤 功君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33 / 41 80.49%	32 / 41 78.05%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 岩崎君 ○鈴木舜君 ○宮川君 浅川君 板倉君 仲田晃君 望月志君 山田君

(2)メイクアップ者

竹田 勲君(藤枝南)

ビジター

- 鈴木 亀雄 ガバナー
- 宮原 邦男 地区副幹事
- 牧田 静二 ガバナー補佐

スマイルBOX 後藤 功君

・本日は藤枝・藤枝南合同例会ご出席賜りましてありがとうございます。又両クラブの活動方針につきましても適切なアドバイスをいただきました。今後共よろしくお願い致します。

藤枝鈴木会長・藤枝南小池会長

- 静清工業高校、甲子園初戦突破を祝いまして、応援を宜しくお願い致します。

栗原 毅君・竹田 勲君

- 今年も富士登拝をすることができました。頂上奥宮で70才以上の登山者として署名して来ました。シーズン終了後番付けが送られてくることでした。ループを用意して今から楽しみにしています。

竹田 勲君

スマイル累計額 91,000円

ガバナー挨拶

鈴木 亀雄様

本日、クラブの皆さんにお目にかかれて大変嬉しく、光栄に思います。クラブの活動について、ご説明頂き、それぞれク



ラブごとに素晴らしい活動方針を知るたびに、私自身大変な勉強になりました。ポールハリスが、四人の仲間たちと、子供時代のようなニックネームで呼べるような親睦関係と、お互い助け合おうとする相互扶助を目指してから100年が過ぎまして、ロータリーも新しい世紀に入りましたことは、会員の皆さんのよくご存知のことです。

日本のロータリーは、日本人ではじめてのロータリアンでダラスの会員であった福島喜三次さんが、米山梅吉翁にお願いして東京クラブが最初に出来上がったことも、そして私たち2620地区は、その米山梅吉翁と深い縁のあるところであることも、よくご存知のことです。

ロータリーが出来た頃は、社会的経済的に大変きびしい時で、お互いどう生き抜いてゆこうかと、先人は考え、各会員のお宅に集まり、そこでその仕事振りを見せていただき、自己の参考にしようとして、集まる会場を持ち回りするということになりました。これがロータリーの名前の由来であることも、皆様のよくご存知のことです。

米山梅吉翁の三男であられる圭三先生の受け売りですが、先生はロータリーは資本主義の矛盾を

改めようとする、一つの社会改良運動であると言っておられます。

確かに、客観的に外から見れば、ロータリーはそうに違いありませんが、ロータリーの精神の根本は、私たちが従事している職業が社会、特に地域社会にとって役にたっていると言う確信をもつことにあります。私たちが職業に従事していることだけで社会に奉仕していることであります。

奉仕は、一般に無償の奉仕と考えられますが、私たちが従事する職業奉仕は、報酬の伴う奉仕であります。

人は、大変意志の弱い、と言うか、欲望に弱いもので、過度の報酬を求めがちであります。そうなりますと、当然なことながら社会に受け入れられないこととなります。

そこに、職業倫理の必要性が出てまいります。ロータリーの四つのテストはその指針であります。本年度の地区協議会に於いて、職業奉仕部会のリーダーさんが、大変丁寧に説明されておりますので、地区協議会の報告書をもう一度お読み頂きたいと思っております。

私がロータリーに入会した頃、先輩にロータリーはどのような会ですかの答えに、単に“昼に飯を食う会だよ”と言われたのを覚えています。例会は、出席することによって、先輩、同輩がどう社会を生活しているのか、知る機会で、自分を成長させる絶好の機会であるわけです。

そういう意味では、ロータリーは、奉仕をしようとする志をもっている人たちの集まりであって、単なる奉仕団体、ボランティアの集まりではないのです。

どうぞ、会員の皆様、皆さんの職業を通じて社会をリードされ、互いに助け合い素晴らしい地域社会の原動力になって頂きたいと思っております。

さて、会員の皆様の成功は、今の皆様のお立場になられるまで、幾多のご苦労、血のどろろのご努力の賜物と敬服にたえません。以前、成功された方のお話を読ませていただいたことがあります。その方々は自分だけで成功したわけではなく、助けてくれた方々、時の運もあったといっておら

れます。

そうしたことに對して感謝をこめて活動するのが、
実は奉仕活動であり、奉仕活動することによって、
他人のお役にたつ喜びを味わわせていただけるのが、
奉仕活動であり、ボランティア活動だと思いま
す。

ロータリー財団は、ロータリーの活動が、個人の
鍛錬、単年度ごとに区切られる性格上、財団とい
う別組織で、年度を離れ、地域をはなれグローバ
ルな活動をするために設けられたと理解されても
いいと思います。

地区協議会報告書の、ロータリー財団の所を十分
お読みいただきご理解くださり、ご協力いただ
ければ幸いです。

清掃奉仕活動

8月8日(月)に蓮華寺池公園清掃活動が行われ
ました。朝早くからお集まりくださりありがとう
ございました。



(担当 / 望月俊)